

Mado 窓

新年号
2014



2014年を迎えて

北里大学病院長 海野 信也

あけましておめでとうございます。本年が皆様にとってよい年となりますことをお祈り申し上げます。年頭にあたり、北里大学病院の近況をご報告させていただきます。

2011年9月に着工した新病院工事は、ついに完了し2013年12月21日に定礎式及び竣工式を行うことができました。そして12月27日には正式な引き渡しが行われました。年明けとともに、5月7日の新病院開院に向けた本格的な準備が始まります。新規に整備する医療機器、什器等の搬入据付作業、既存棟からの移設作業に平行して、職員による準備作業が行われます。開院式および内覧会は4月20日（日曜）に行う予定となっております。よろしくようお願い申し上げます。4月26日から5月6日までは移設期間となり、中央診療部門、病棟、外来部門を順次移設してまいります。その間、診療機能が損なうことがないように留意し、救急対応については、最小限の制限にとどめるようにいたします。なにとぞご了解いただきたくお願い申し上げます。

北里大学新病院プロジェクトは、北里大学病院・東病院をリニューアル再編し、少子高齢化という我が国の社会の大きな変化に対応した医療提供体制をになうことのできる病院群とするために2005年に開始されました。私どもの新病院プロジェクトは、今後以下のように進行する予定となっております。

2014年4月20日：新大学病院開院式・内覧会

2014年5月7日：新大学病院開院

2014年5月から12月：大学病院新棟改修工事

2015年1月：新大学病院のフルオープン：東病院から消化器内科・消化器外科・整形外科・臨床試験センターが大学病院に移転して、新大学病院の全部門がそろい、フルオープンとなります。

2015年1月から5月：東病院改修工事

2015年1月から10月（予定）：大学病院既存棟解体工事・外構整備工事

2015年5月（予定）：北里大学東病院のリニューアルオープン：東病院の改修工事が2015年1月から始まり、新たな部門として回復期リハビリテーション、在宅・緩和ケア、小児在宅支援、健康科学センター（人間ドック）等が設置されます。既存の精神神経センター、神経耳科、心臓二次予防センター、神経難病センターとともに、新しい地域に開かれた病院としての新東病院が2015年5月にオープンいたします。

地域の医療機関の皆様には、さまざまご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、地域医療にさらに貢献できる新しい北里大学病院・東病院に生まれ変わるためにどうしても必要な過程と考えております。今後ともご支援いただきたく、お願い申し上げます。

（うんの のぶや：産科学 教授）

相模原町田地区介護医療圏インフラ整備 コンソーシアムが発足しました

コンソーシアム事務局
トータルサポートセンター
病診連携事務担当 中溝 一男

当院では、かねてよりトータルサポートセンターの小野沢を中心に間近に迫った超高齢者社会に誰もが必要な医療と介護が受けられる体制作りを目指した仕組み作りをするため地域の医療機関や介護の関係者と議論を進めてまいりました。

この度、12月8日日曜日（於：ホテルラポール千寿閣）に仕組み作りに賛同して頂いた相模原・町田地区の医療機関や介護事業者が集まり、“相模原町田地区介護医療圏インフラ整備コンソーシアム”の発足の会を開催しました。

当日は、設立趣旨に賛同頂いた各事業者・医療機関・ご後援を頂いた両市の医師会、相模原市病院協会より多数の方のご出席を頂き盛大のうちに会が行われました。会の中では、事業案の説明と共に当コンソーシアム設立事務局の企画で、実際の患者さんの入院・在宅訪問等を寸劇とし披露し、コンソーシアムが目指す情報の共有やTV会議システムを用いた仕組みの一部に参加された方々にお見せすることが出来ました。

今後の活動は以下のとおりです。

1. コンソーシアム参加者の取り纏めと連絡網の整備
2. コンソーシアムの運営規定の整備
3. 以下の5つの活動を行うためのワーキング（多職種による）の立上げと、講習会・研修会の企画運営を検討しています。

- ①医療者向け研修会の開催
- ②介護職員・ヘルパー向け研修会の開催
- ③TV会議の実施・症例検討会
- ④入院予防対策
- ⑤嚥下評価と栄養指導

（なかみぞ かずお：トータルサポートセンター）



リレー・フォー・ライフ・ジャパン in 相模原に参加して

チーム北里がんサロン チームリーダー
トータルサポートセンター
ソーシャルワーク室 市川 賀一

こんにちは！ トータルサポートセンター（旧患者支援センター）ソーシャルワーカーの市川と申します。

リレー・フォー・ライフ（以下RFL）とは、がん征圧を目指し、「偲ぶ」「楽しむ」「立ち向かう」をテーマとして、がん患者や家族、支援者などが24時間！リレー方式で夜通し！歩き、募金を募る！という適度に（？）過酷でとても楽しいチャリティーイベントです。世界20カ国、国内では40カ所以上で開催され、世界中で毎年400万人以上が参加しています。今回は相模原市、相模原市病院協会、相模原市医師会、神奈川県病院協会JAグループ神奈川の主催、相模原協同病院が実行委員の主管として、相模原市で初めて行われた記念すべきRFLでした。

チーム北里がんサロンは、北里大学病院にて毎月第3金曜日に地域のがん患者さんを対象として行っているがんサロンの運営メンバーと有志によって構成されたRFL参加チームです。今年は相模原での開

催であることもあり地元、相模原にできることを、と準備を進めていました。

RFL当日は天気にも恵まれ、最高の秋晴れとなりました。日中は地元、相模原の鼓笛隊やミュージシャン、大学サークルなどが会場を盛り上げ、夜にはルミナリエが会場を彩り幻想的な空間となりました。

RFLへの参加は病院スタッフとしてだけでなく、ひとりの支援者（ケアギバー）として故人を「偲び」、「楽しむ」ことを通してがんに「立ち向かう」力を得る場です。皆さんもぜひ一度、参加されてみてはいかがでしょうか。

今回のRFLは、運営委員である相模原協同病院と、JA神奈川の皆様のご尽力なくしてはこのようすばらしいイベントにはならなかったと思います。このイベントにかかわっていただいたすべての人にこの場を借りて感謝申し上げます。

それでは、次回のRFLでお会いしましょう！

（いちかわ よしかず：トータルサポートセンター）



北里大学病院 ボランティア会創立20周年によせて

北里大学病院ボランティア会
コーディネーター 矢島 愛子

平成5年ボランティア会設立から20周年を迎える事ができました。

創立当時、院内では大学の学生奉仕団というボランティアグループがあり小児病棟のみで活動をしていました。「成人病棟にもボランティアを」、の声があり元看護部長、小児病棟の保母、看護部の方々の協力で学生、主婦、オレンジクラブ（当時院内でボランティア活動をしていたグループ）などの参加があり、各病棟・移動図書サービス等の活動が始まり、徐々に活動を希望する者も増え、現在総登録者約1,200名余、毎年の更新活動者は50～60名となっております。日本ボランティア協会より活動1,000時間の達成者が22名表彰され、相模原市ボランティア協会からは優秀活動者として30名の方が表彰されています。

会員も高齢化になりましたが、高校生や大学生、北里大学医学部学生の若い方々の力もお借りしています。当院と隣接している県立麻溝台高校とは、ボ

ランティア活動による単位取得制度の協定を交わし毎年生徒の受け入れをしています。

ボランティア活動者には、以下のような嬉しいお言葉を頂いています。

「ピンクのエプロンのボランティアさんが正面玄関に
いるだけで安心」

「さりげない声かけや優しい対応にほっとする」

「雨の日の車の乗り降りの介助が助かった」

病棟への配本サービスも定着し入院している患者さんも待っていてくださり、ゆっくりと本を見る事ができ良かったとの声を頂きます。

新病院のオープン時には、患者様に「安心」して「安全」に受診して頂けるよう準備していきたいと思っております。

今後も私たちは、自発的に・自由意思で・自ら進んで自分の労力を提供し、[患者中心の医療]を提唱する病院のお手伝いしていきたいと思っております。



“平成25年度ボランティア懇親慰労会” から 平成25年11月7日（木）

ボランティア業務委員、看護部のご指導とご協力、宜しくお願い申し上げます。
(やじま あいこ：ボランティアコーディネーター)

〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
北里大学病院 トータルサポートセンター
TEL 042-778-9988 FAX 042-778-9599
<http://www.kitasato-u.ac.jp/khp/>
E-mail / shoukaiw@kitasato-u.ac.jp